

おうめ水辺の楽校開校式

開催日時：平成24年7月7日（土）9:15～9:45

会場：河辺市民球技場管理棟前広場

主催：おうめ水辺の楽校運営協議会



おうめ水辺の楽校運営協議会委員
司会進行 幡野 時久



挨拶 おうめ水辺の楽校
運営協議会会長 渡邊勇

おはようございます。

みなさん「おうめ水辺の楽校」って聞いたことありますか。聞いたことないですね。「おうめ水辺の楽校」というのは、河辺川原をフィールドにして楽しく川遊びをしたり、自然体験をしてもらおうと国土交通省が進めているプロジェクトです。子どもの水辺、水辺の楽校制度はどのような理由から出来たかを簡単に説明します。昔、私がみなさんのように子どもであった頃、つまり60年前 私達は川に行ってサワガニやドジョウを捕ったりしました。また、田んぼにはホテルが沢山いて、光り輝いてい

ました。また田んぼのあぜに近づくといなごが沢山飛び跳ねていました。そういった自然の中で子どものころ過ごしてきましたので、自然の不思議さ、自然の怖さを体験してきました。しかし、その後、子どもの自然離れが言われるようになり、水辺での子どもの賑わいがすっかり影を潜めてしまいました。その理由が1965年以降、学校にプールがつくられるようになってからとか、日本の高度成長期に進んだ河川の水質悪化だとかいろいろな原因らしきものが挙げられています。一方で子どもの学習塾・習い事が増加し、子どもたちは大変忙しくなり、子どもたちを水辺から遠ざけてしまったようです。

以上のようなことから自然離れを改善するために、1999年に、現在の文部科学省、国土交通省、環境省が連携して、川で子どもたちの体験活動の充実を図るため「子どもの水辺」再発見プロジェクトを立ち上げられたのです。

子どもの水辺再発見プロジェクトに基づき、本日まで多摩川沿線において「おうめ水辺の楽校」を含めて18校の子どもの水辺、水辺の楽校が登録され、活発に活動されています。全国では296件登録されています。

次におうめ水辺の楽校の設立までの経過について説明します。200

6年5月に青梅・多摩川水辺のフォーラムは、会の目的の1つに『青梅の多摩川に「水辺の楽校」を設立する』ということ掲げて発足しました。その後、年に6事業の水辺の事業を青梅市内の小学校の協力を得ながら展開してまいりました。また同時に青梅市、教育委員会、地元の市議会議員、河川管理者にご支援を頂きながら登録するための準備をしてきました。2011年におうめ水辺の楽校運営協議会が設立され、おうめ水辺の楽校の登録するための準備が整い、ようやく今年の2月に「子どもの水辺」再発見プロジェクトに登録完了いたしました。

本日は、河辺小学校、友田小学校の校長はじめ、多くの子どもさんと保護者の方々、青梅・多摩川水辺のフォーラムのスタッフのみなさん、青梅市、教育委員会、地元の市議会議員、河川管理者一堂に会して開校式を迎えることが出来ましたことを心より御礼を申し上げます。

今後は「子どもの水辺」の趣旨に乗っ取って、楽しい事業を展開してまいります。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

以上をもちましておうめ水辺の楽校運営協議会会長のご挨拶とさせていただきます。



市長祝辞 代読
青梅市役所環境経済部長
水村 和朗様

子どもの水辺登録記念イベント
おうめ水辺の楽校開校式 祝辞

みなさん、おはようございます。
本日ここに、「子どもの水辺」の登録を記念して、「おうめ水辺の楽校開校式」が開催されますことを、心よりお祝いし、ご挨拶を申し上げます。

特に今日は、青梅市内の子供たちが大勢参加していただく中で、開校式が開催されますことを、大変嬉しく思います。

私も小学生の頃は、ここから1キロ程上流の、釜の淵で毎日のように川遊びをするのが、夏休みの日課でした。奥多摩町に小河内ダムが完成する前で、今より水温も高く、流れも穏やかな多摩川でした。現在は、皆さんが遊び場として多摩川に親しむことは、いろいろと危険な場合もあり、かつて、どの川でも見られたような、魚とりや水遊びなど、水辺に親しむ光景を目にする機会は減ってしまったように思います。

大人も子どもも一緒に、水辺の楽しみを体験することで、自然の大切さを知り、守る心を育ててほしいと考え、平成20年から、市内の河川で活動されている団体の皆さんと一緒に、水辺に親しむイベントを開催してきました。ここ「おうめ水辺の楽校」でも、小さな生き物や野鳥、昆虫の観察など、水辺の体験活動ができます。いろいろと楽しみながら、この自然環境の大切さを学んでください。そして、この豊かな自然を一緒に守っていきましょう。

さて「おうめ水辺の楽校運営協議会」の皆様におかれましては、「子どもの水辺」再発見プロジェクトを通じ、地域の水辺の活性化、子どもたちの環境学習や体験活動に、積極的に取り組んでいただき、深く感謝申し上げます。この度の「子どもの水辺」の登録は、子供の頃の思い出からも非常に感慨深いものです。これを機に、かつての豊かな水辺の情景が戻ってくることを、切に願うものであります。

これからも、子どもたちが安全に活動できるよう、サポートをお願いいたします。

結びに、皆様の活動がより多くの市民に広がり、ますます充実されることを、ご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成24年7月7日
青梅市長 竹内 俊夫



挨拶 河辺小学校
校長 富田 清様





挨拶 友田小学校
校長 隅内利之様



挨拶 国土交通省京浜河川事務所
河川環境課長 海津義和様

「おうめ水辺の楽校」
の登録に絶大な貢献を
して頂いた地元の市議
会議員島田俊雄様、お
うめ水辺の楽校の事務
局田中正史様 ご苦労
様でした。



おうめ水辺の楽校開校式においてテープカット（おうめ水辺の楽校の未来を切り開く）



おうめ水辺の楽校開校式後、第4回多摩川まるごと遊び塾開始前における集合写真

おうめ水辺の楽校参加者数

子ども : 71名 保護者 : 45名
 講師 : 3名
 学校関係 : 7名
 学校PTA・サポーター : 9名
 青梅市 : 10名
 国土交通省関東整備局京浜河川事務所 : 2名
 青梅・多摩川水辺のフォーラム : 10名
 報道関係 : 3名
 おうめ水辺の楽校運営協議会 : 11名
 ※おうめ水辺の楽校運営協議会は、青梅市（3名）、京浜河川事務所（1名）、青梅・多摩川水辺のフォーラム（2名）のメンバーと一部重複しています。

参加者数総合計 : 165名

発行 : おうめ水辺の楽校運営協議会事務局
 青梅市環境経済部環境政策課

TEL 0428-22-1111

FAX 0428-22-3508